



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：閣僚評議会による「責任と公正法案」及び2008年予算案の承認

(11月15日付現地報道)

1. 「責任と公正法案」の承認

(1) 11月13日、イラク閣僚評議会は、最終的な修正を加えた上で、バース党員の社会復帰を促す「責任と公正法案」を承認した。同法案は今後、国民議会に送付され審議される。

(2) ダバーク政府報道官の発言

閣僚評議会は同法案につき特別なセッションを設けて承認した。同法案は従来から議論の多かった「非バース化法案」に替わるものであるが、憲法に基づき設置された「非バース化委員会」はその任務を引き続き遂行する。

(従来「非バース化法案」との違いについて問われ) 社会復帰の対象となるバース党員の範囲に違いがある。

(国民議会に送付される時期について問われ) 政治プロセスや国民和解に重要な意味をもつ同法案が速やかに国民議会に可決されることを期待する。

<参考>

今回承認された「責任と公正法案」は旧バース党員の社会復帰にかかるもので、国民和解を促進する上で重要な法案の一つ。今年8月の五者合意の中で、ハーシミー副大統領(スンニ派)とアブドルマフディ副大統領(シーア派)との間で合意を見ていながら、政府決定に至っていなかったもの。一部にはスンニ派とシーア派の間で既に内容について合意が出来ているので、国民議会に送付されれば議決は比較的容易との見方もある。但し、イラクでは閣僚評議会で決定された法案が議会に速やかに送付されないことも多く、同法案の今後については不確定である。

2. 2008年度予算案の承認

(1) 11月13日、イラク閣僚評議会は、2008年(1-12月)予算案を承認した。予算案総額は、対前年比18%増の480億ドルで、予算額としては過去最大。同予算案は、石油輸出力170万B/D、原油価格1バレル57米ドルを前提としている。

(2) ダバーク政府報道官の発言

政府は投資関連経費を対前年度30%増の130億ドルと大幅に増額し、更にその大部分を地方のプロジェクトに配分することとした。上記の投資関連経費を含め、総プロジェクト経費は190億ドル(予算総額の40%)となる。今後、同予算案は、国民議会で審議される。